

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表

令和5年12月25日

事業所名 放課後等デイサービスLove&Smileりやん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			支援上の理由や感染対策の観点から、活動場所を分けたり時には部屋を広く使用できるよう戸をはずしたりしている。
	2	職員の配置数は適切である	6			人員基準に対しては職員の人数が多く配置されている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6			バリアフリーにはなっていないが、その時その時環境の改善を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			職員会議やケース会議を行い、業務改善について話し合っている。また療育の前後に打ち合わせをしたり、集団活動について職員で実際に試してみたりしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			年一回アンケートを実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			毎年自己評価を実施、施設のHPIに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6			第三者の外部評価はまだ取り組んでいない。今後とりくめるようにしていきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			施設内研修を行ったり、外部の研修にオンラインで参加する、研修のお知らせを積極的に伝え受けることができるようにしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			少なくとも半年に1回の面談を行い、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			専門の本をみて良いものは使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			一カ月から一週間と計画を立てながら集団療育の活動については主任が中心となり、プログラムを立案している。立案されたものを職員全体で意見を出し合い実践している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			その時々の子どもの実態に応じて、計画とすり合わせ活動・遊びの提供を心がけている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			長期休暇にしかできない、体験やお出かけ、継続的な遊び・普段できない個別の療育など工夫して取り組んでいる。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			学校、保護者、職員などそれぞれの目線から情報を収集し、個別、集団などを組み込みながら作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			毎日朝会や打ち合わせを実施し一日の流れ、担当する職員を決める、情報の共有に努め行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		当日にできない時には翌日共有するようにしている。	緊急の際などは全員の共有ラインで報告をし、対応するようにしている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			その日気になった点などは、運営サポートアプリのケア記録に記すようにし振り返りをしたり共有するよう努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			月1回個別支援計画に基づき、担当者が実態・支援内容などの訂正や追加などまとめ、話し合いを設けている。また、最低半年に一回はモニタリングをし計画をたてている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			行っている。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達支援管理責任者が出席している。状況に合わせ直接支援をしている保育士が参加することもある。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		必要に応じて行っている。送迎サービスの際、学校にお迎えに行った際に学校の様子を伝え合ったり、時には電話をしたりする。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6		現在対象児童はいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6		必要に応じて、相談支援専門員を通して連携をとるようにしている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	現在そのような事例はない		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		研修などは積極的に参加できるようにシフトなどの工夫をしている	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6		公園が近いので、そこに遊びにくる地域の子ども達とかかわりをもつようにしている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	6	協議会の参加は行っていない。今後参加できるように努めていきたいです。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		利用日には連絡ノートに様子を伝えたり、月1回はおたよりの発行・写真は個別に専用アプリに送っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6		保護者から相談を受けた場合に限らず、支援中に気になったことがあれば状況や対応を伝えるようにしている。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	玄関横にマニュアルなど閲覧できるようにしていますので、ぜひご覧ください	利用契約時にご説明している。運営規定については、常時、閲覧できるようにしている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		必要に応じて面談で相談を受けたり、保護者様のご都合や心身の状態に合わせてLINEを活用するなど柔軟に対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	6	実現できるように努めていきたいです	保護者会は実施していない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情があった際には随時対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			必要な連絡はLINEを活用して行っている。
	35	個人情報に十分注意している	6			鍵付きのロッカーにいれ毎日鍵をかけている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6			夏祭りには、地域の方や子どもさんたちによびかけをしたり、ハロウィンなどは仮装をして地域を回ったりし地域に積極的にかかわろうと努力し

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		各種マニュアルを作成、常時閲覧可能としている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		2カ月に1度、児童とともに避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		虐待防止・権利擁護研修などを管理者が受講して、職員に対して研修をするようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		児童の心身の状況に応じて様々なケースを想定して、職員と共通理解している。現在のところ、身体拘束は行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		受入れ時、母からの説明・エピペン練習・保育園の時の対応などを聞いたり、シミュレーション・救急時の対応など毎月確認している。おやつの中には、事前に母へ材料や具体的なおやつを写真にして確認してもらうように認めている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		ヒヤリハット報告は随時行い、記録して、再発防止に努めている。